

パレスチナでいま何が起きているのか

ガザ・ヨルダン川西岸の現状と国際的課題

昨年12月から今年1月にかけてイスラエル軍が行ったパレスチナ・ガザ地区への攻撃では、約1400名が死亡し、5000人以上が負傷たとされています。そのうち約40%が子どもと女性であるとも言われています。

そして、今回の軍事侵攻前から現在も続く経済封鎖により、ガザ地区ではあらゆる物資が不足し、市民の日常生活も地域の復興もままならない状態におかれています。

また、ヨルダン川西岸地区でも、イスラエル政府は国連総会による非難決議をはじめとする国際的非難を無視し、入植地や地域内を分断する「分離壁」建設を続けています。

ヒューマンライツ・ナウは今年4～5月、パレスチナにスタッフを派遣し、現地調査を行いました。今回の企画では、特別報告者として先日の侵攻直後にガザ地区を現地取材された土井敏邦氏をお迎えし、ガザ地区とヨルダン川西岸地区それぞれの現状を踏まえ、それぞれについて国連等の国際機関の対応と今後の課題について検討します。

7月19日(日)

午後2:00～4:30

エル大阪 708号室

最寄駅：京阪天満橋駅、地下鉄谷町線天満橋駅

資料代：300円

特別報告：土井敏邦氏

(フリー・ジャーナリスト)

第1部 ヨルダン川西岸地区について

現状報告：清末愛砂(島根大学教員)

吉野太郎(関西学院大学教員)

国際対応：枝川充志(東京弁護士会)

第2部 ガザ地区について

特別報告：土井敏邦氏(フリー・ジャーナリスト)

国際対応：伊藤和子(HRN事務局長、東京弁護士会)

第3部 質疑応答

主催：特定非営利法人ヒューマンライツ・ナウ

ヒューマンライツ・ナウ(HRN)は、国境を越えて世界、特にアジア地域の人権問題解決のために活動するNGOです。世界の人権侵害をウォッチすること、レポートすること、そして政策提言することが私たちの活動の柱です。

〒110-0015

東京都台東区東上野1-20-6

丸幸ビル3F

電話 03-3835-2110 Fax 03-3834-2406

お問い合わせはこちらまで

[<hrn_kansai@yahoo.co.jp>](mailto:hrn_kansai@yahoo.co.jp)



特別報告者・土井敏邦氏経歴

1953年佐賀県生まれ。日本ビジュアル・ジャーナリスト協会（JVJA）正会員。著書多数。

中東専門雑誌記者を経て、現在フリージャーナリスト。

1991年より1年間、週刊誌『朝日ジャーナル』の嘱託記者。

1985年以来、断続的に延べ5年以上、イスラエルとその占領地（パレスチナ）の難民キャンプや村に滞在して取材を続けている。

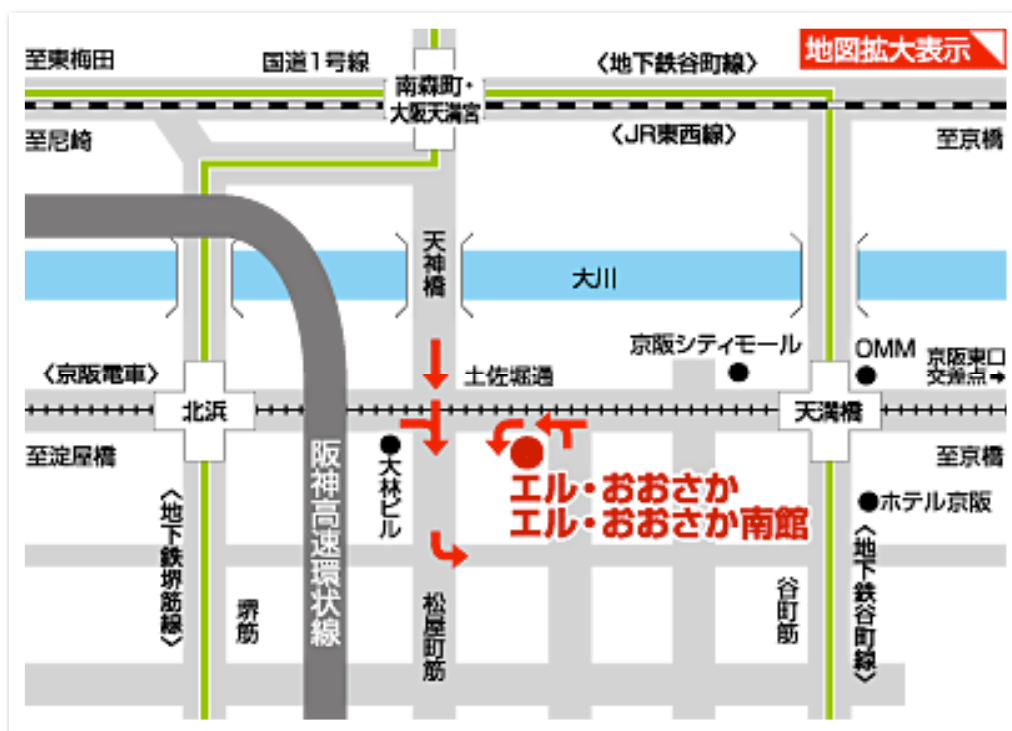
また1986年からのべ12カ月間、アメリカ各地でユダヤ人、パレスチナ人を取材し『占領と民衆——パレスチナ』『アメリカのユダヤ人』『アメリカのパレスチナ人』の三部作を完成。

1990年の湾岸危機ではアメリカのユダヤ人社会とアラブ人社会の反応を、また翌年1月の湾岸戦争ではイスラエルで占領地のパレスチナ人とイスラエル国民の反応を取材し『朝日ジャーナル』に連載。3月から2カ月間、NHKスペシャル「アメリカのパレスチナ人」制作をコーディネート。

1993年の「中東和平合意」を機に再びパレスチナ・ガザ地区の難民キャンプやイスラエル国内に長期滞在し取材、E T V特集「失業と解放の1年——パレスチナ難民エルアグラ家の場合」（94年）「パレスチナ和平の陰で——ある家族の6年」（99年）、また「ニュースステーション」の特集で6回にわたって現地報告。

現在、最新作「沈黙を破る」が全国各地にて上映中。

会場案内図



- 京阪/地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m
- 京阪/地下鉄堺筋線「天満橋駅」より東へ500m
- 地下鉄御堂筋線「淀屋橋」より東へ1,200m
- JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850m